


WRESTLE QUAD 競技規則 v.6

 : v.5からの大きな変更

1. Robot Competition Series “BRAVE”基本規定

試合は全ての競技者が競技規則に従い、定められたフィールド内において競技参加者各自が用意したロボットを用いて試合を行い、審判並びに運営委員会の判定によって勝敗を決めるものとする。

2. レッスルクワッド基本規定

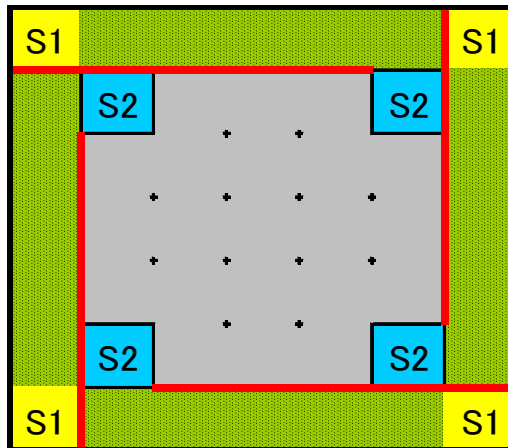
試合は1試合につき最大4機まで戦えるトーナメント式となります。

* 開催時間中に複数のトーナメントを行う場合もあります。






試合は試合開始時点で10ポイントを機体に与えられ、レッスルクワッド機体を用いて相手機のポイントを減らしてゆき、試合時間終了時点で最も残存ポイントが多い機体が勝利となります。

3. フィールド規定

レッスルクワッドは以下に示す構成のフィールドで行われます。



* 各マスは下記の様に分類されます。

	S1	: 試合開始時、エンタランス未走破時の機体スタート位置
		: エンタランス
	S2	: エンタランス走破後の再スタート位置
		: アクションフィールド
		: 壁

* 各サイズは下記の通りです。

S1, S2	: 約300mm × 300mm
エンタランス	: 幅 約300mm、距離 約1500mm
壁	: 高さ 約100mm 厚さ 約5mm
全体	: 約 2100mm × 2100mm

* 各素材は下記の通りです。

S1, エンタランス	: 樹脂製人工芝
S2, アクションフィールド	: 樹脂製人工芝
壁	: ペット樹脂

レッスルクワッドの障害物の高さは最大3cmです。

フィールドと規定されていない場所は全て場外になります。

試合開始から30秒経過後はS1、エンタランス共に場外となります。

* エンタランスを走破出来なかった場合は再挑戦となり場外が一時的に解除されます。
(「試合規定」も参照)

4. 試合規定

レッスルクワッドの試合は3分間で行われます。

* 申請によるタイムアウト、審判の判断以外で時間を止めることはありません。

試合開始時に各機体に10ポイントが与えられます。このポイントは試合毎にリセットされます。

レッスルクワッドの試合は「フィールド規定」にて定められたフィールドを使用します。

試合は審判の指示・判断を遵守して下さい。選手は審判に対し異議を唱えることは出来ません。

* 試合中は審判のコールのみでポイントの減算となります。審判が視認出来ない場合はコールされない事があります。

また、試合中に競技規則に記述のない状態になった場合は審判の判断に従って下さい。

試合中は規定されている状態、または審判の指示以外で機体に触れることは出来ません。

触れた場合は失格となります。

試合用意: 選手は自身の試合前にS1に自機をセットして下さい。送信機の電源もONにします。

* 試合のコーナー色は機体検査時のステッカー・フラッグ色となります。選択は出来ません。

* S1からはみ出なければ向きは自由です。

* セットが終わった時点で拳手をして審判の指示を待ちます。

* MCまたは審判による入場案内後、1分以内に入場しない場合は失格となります。

* 相手選手が準備完了後、1分以内に用意が出来ない場合は失格となります。

* 拳手後は試合開始まで送信機の操作を行わないで下さい。

試合開始: 試合は審判の「始め」のコールによって開始となります。

- * フライングと判断された場合、1度目は仕切り直しとします。
 - * 同一試合で2度フライングを行った場合は失格となります。
- アクションフィールド入場: エントランスは30秒以内に走破し、アクションフィールドへ入場して下さい。
- * 場外へ落ちた場合は、「2ポイント減算」され、S1に戻されます。
 - * エントランスは試合開始から30秒経過後に場外扱いとなり、走破出来ていない場合は「2ポイント減算」され、S1に戻ります。
 - * S1再スタートは再度30秒の計測となり、一時的に場外扱いは解除となります。3回まで挑戦出来、3回以内に走破出来ない場合は失格となります。
 - * 機体は審判の「[コーナー色]クリア」のコールがあるまで、機体の位置に関わらずエントランス上扱いとなります。その為、クリアコール前の相手機に攻撃を行うと場外となります。また、自機のクリアコール前に相手機に攻撃を行うとペナルティとして「2ポイント減算」されます。
 - * 「[コーナー色]クリア」コールを行うタイミングは、審判がその機体の全てがアクションフィールドに進入したと判断した時点とします。
 - * 相手機がエントランスからS2へ入場する時にはS2から出るようにして下さい。入場妨害の程度によっては妨害機体にペナルティを与えます。

アクションフィールド内: ダウンについて

- * ダウンとは、機体が転倒した状態を指します(機体上面のステッカーが90度以上倒れた状態を目安とします)。ダウンとなった場合はダウンコールが行われます。
- * ダウンには2種類あり、相手の攻撃によるダウンは「**攻撃ダウン**」となります。障害物によるダウン、操作ミスによるダウン「**自己ダウン**」となります。
- * 攻撃ダウン時は審判の「[コーナー色]ダウン、1ポイント」のコールにより、該当色機体に「1ポイント減算」されます。自己ダウン時は「[コーナー色]ダウン」のコールとなり、ポイント減算がありません。
- * ダウンのコールは機体が着地している(着地した)状態でコールされます。
- * ダウンのコール後に10カウントが開始され、カウントダウン中に元の姿勢に戻れない場合はカウント終了後にS2へ操縦者自身で戻します。(下記の補足も参照)
- * S2からの再スタートは機体がセット出来次第、速やかに試合復帰してください。S2への機体セット時に軽微なメンテナンスを行った場合は試合中の整備申請の権利を失います。
- * ダウンカウント中に相手機に攻撃を受け、審判が再ダウンと判断した場合、カウントは10に戻され審判の「[コーナー色]再ダウン、1ポイント」のダウンコールにより「1ポイント減算」されます。
- * 相手機がS2へ戻った場合は、S2から出やすいように再スタート機から離れなければいけません。

- | | |
|----|---|
| 補足 | 1回の攻撃につき1ポイントの減算となります。1回の攻撃で複数回回転した場合などは1ダウンとカウントされます。 |
| 補足 | 相手機の攻撃により空中で回転した場合は、空中でダウン状態と同じ姿勢になった場合に限って、着地時にダウンとなり1ポイント減算となります。また、空中で何回転しても同じです。 |
| 補足 | S2へ戻す場合、戻すS2は4カ所のうちのどのS2でも構いません(ただしアクションフィールド入場前の機体がいる場合は邪魔をしない事)。試合を妨げないよう、速やかに試合復帰をしてください |

アクションフィールド内: 場外について

- * アクションフィールド入場後に場外となった場合は該当機から「2ポイント減算」し、S2に戻ります。
- 試合終了: 決着は残りポイントが最も多い機体が勝利となります。
- * 試合は審判の「**そこまで**」のコールによって終了します。
 - * 審判のコールと同時に操縦を停止し、送信機は電源を切らずに手元の机に置いて下さい。
 - * 終了時点でポイントが相手機と同じ場合は、フィールド中心に最も近い機体が勝者となります。
 - * 機体位置で判断が出来ない場合は機体に貼られたステッカーを参考に判断します。
 - * 試合中にポイントが0になった場合は該当機体は負けとなります。
 - * 使用したクリスタルは機体検査所へ返却してください。

試合中のタイムアウト

- * 審判の「**待て**」のコールによりタイムアウトとなります。
- * タイムアウトが取られた場合は全ての機体はその場で動作を止めて下さい。
- * タイムアウト中は送信機を手元の机の上に置き、指示が有るまで待機して下さい。
- * タイムアウトは選手の申請及び審判が試合上必要と判断した場合に行われます。
- * タイムアウト中は審判の指示に従って下さい。
- * 各試合毎に1機体につき1回・30秒のタイムアウトが申請出来ます。審判に分かるように申請して下さい。(タイムアウト中の整備については機体整備規定をお読み下さい)
- * タイムアウト中に整備申請者以外が自機に触れた場合はペナルティを与えるか、もしくは失格となります。
- * 試合再開はタイムアウト直前の位置から再開します。審判の判断によってはS2(エントランス未走破機はS1)からの再開になる場合もあります。なお、機体整備を行った機体はS2からの再開になります。
- * タイムアウト中の機体整備は申請者のみとなります。

失格

- * 試合中に機体が動作不能・制御不能となった場合は審判の判断にて該当機体は失格とします。
- * 全ての機体が動作不能で試合が開始出来ない場合はジャンケンで勝敗を決めます。
- * 試合中に競技フィールドを破壊・損傷させた場合は該当選手を失格とします。(軽微な破損は審判の判断によりペナルティとなります。)
- * 失格選手は最下位となり、順位が繰り上がります。

5. 機体規定

ラジオコントロール装置をインターフェースとするリモートコントロールロボットとなります。

- * リモートコントロール時の電波帯はAM27MHz帯、2.4GHz帯(共にラジオコントロール用)のみです
- * リモートコントロール用送信機・受信機は1機につき1セットの使用となります。

サイズは**210mm × 300mm・高さ600mm以内**に収まる事とします。

- * 電源未投入状態で計測しますが、試合開始時も計測時と同じ状態に出来る構成として下さい。

重量は送信機・送信機バッテリーを除いた、機体本体の全備重量で**1500g以内**とします。
使用可能なパワーユニット・アクチュエータは下記の通りです。

マブチモータ	FA-130	FF-130SH	FC-130	RE-140	RE-260	RC-260
スタンダードモータ	FP-130C					
京商	MZ9P	MZW8P	MZW8V			
イーグル模型	HT2BB	BB1モータ	BB2モータ			
S.T.L.JAPAN	菅41YS					
サーボモータ	制限はありません					

* 各パワーユニットの改造は禁止とします。

使用可能な電源は下記の種別のみとなります。

* マンガン電池／アルカリ電池／オキシライド電池／ニッケルカドミウム蓄電池／ニッケル水素蓄電池／リチウムフェライト蓄電池

機体上面に約20mm×20mmの機体識別ステッカー貼り付け箇所を用意してください。

* ステッカーは試合前の機体検査時に貼り付けます。

* ステッカー貼り付け位置は試合が同ポイントで終了した場合の目安となります。

機体に指定のフラッグを取り付けられる箇所を用意してください。

* 試合中にフラッグが外れても構いません。

移動、障害物走破が出来る機体であること。

* 吸引・吸着等、フィールドへの機体固定を目的とした機能の装備・使用は禁止となります。

対戦相手への侮辱行為とみなされるような機体へのペインティング、マーキングは禁止とします。

著作物の印刷物貼り付け、立体物の搭載は禁止とします。使用権利を所持している場合は可とします。

また、公序良俗に反する物は禁止とします。それに付随して、当日、機体審査係に公序良俗に反すると

判断された場合、取り外しが可能な場合は取り外し、不可能な場合はテープ等で隠させていただきます。

液体・気体、火薬類の搭載は下記に該当する物を除き禁止とします。

* 油圧ダンパー等、サスペンション用途としてのみ使用可能です。

フィールド破壊、他機体の破壊を目的とした構成、人体への殺傷を行う可能性のある構成は禁止とします。

開催時間中に初回機体検査時と異なる構成にした場合、該当機体は失格となります。

6. 機体整備規定

機体整備はメイン会場の席上、メンテナンススポット、メンテナンスエリア、機体検査所でのみ行うことが可能です。ただし、館内での発電機、車用バッテリーの使用等は安全上禁止です。

* 席上ではバッテリー交換等の軽整備のみ可能です。会場の電源、電動工具、送信機は使用出来ません。

* メンテナンススポットではハンドツールを使用した重整備や、PC等を使用したセッティング・動作確認が可能です。会場の電源、電動工具、送信機は使用出来ません。

* メンテナンスエリアでは、充電器使用による会場の電源、及び送信機の使用が可能です。

* 機体検査所には動作確認用フィールドが用意されています。

* 機体検査所での整備は動作確認・クリスタル脱着・バッテリー交換・短時間整備のみとなります。

* 危険を伴う為、全ての場所で機械加工は禁止となります。

メンテナンスエリアは別室に設けられ、メイン会場内では出来ない事が出来るようになります。

* メンテナンスエリアの使用は申込時に申請してください。当日の申請は受け付け出来ません。

* 別競技にてメンテナンススペースの使用権を得ている場合は当競技でも使用可能となります。

試合中の整備について

* 試合中の整備申請は審判へ分かるように申請してください。

* 試合中の整備は試合毎に**1機につき1回**のみです。

* 整備時間は**30秒以内**となります。30秒を超えても止めない場合は失格となります。

* 審判が整備時間を計測します。指示があるまでは整備をしないでください。

* バッテリー交換・部品交換・新規部品取り付けは禁止です。部品付け直し・増し締め・部品取り外し・リセットのみ可能です。部品付け直しの為のタイラップ・テープ等の使用はやむを得ない場合のみ可とします。

7. 機体検査規定

参加者は会場来場後、用意が出来次第初回検査・来場登録をしなければいけません。

* 初回検査は何度でも受けることが出来ます。記録には最後に受けた数値が記録されます。

参加者は自試合の2試合前から自試合開始までに試合前検査を受けなければいけません。

* 指定の機体検査所にて受付します。

* 検査時に試合用クリスタルを装着し、動作確認を行ってから計測します。

* 検査後は試合待機席に移動し、待機します。待機中に機体整備を行うことは禁止します。

* 使用したクリスタルは試合終了後に機体検査所へ返却して下さい。

8. その他の禁止事項

競技運営に関して支障をきたすような電波発生装置の持ち込み、使用を禁止します。使用を確認された場合、直ちに機器の使用を停止していただきます。

誹謗中傷となる行為は一切禁止とし、運営管理者により特に悪質と判断された場合は警察へ即時通報するものとします。

試合中にフィールドエリア外から操縦者・機体に影響を与え、かつ会場内への迷惑行為を行った場合は該当選手を失格とします。

9. 試合中負傷又は事故が生じた場合

競技者が試合中に負傷した場合、審判の判断により試合を一時中断する事が出来ます。

競技者が負傷により試合の続行が不可能な場合は、その時点で試合中断とし該当者は失格となります。

前項において、故意に原因を起こした者がいる場合、加害者は参加資格・試合戦績を全て剥奪されます。

10. その他

勝者であっても運営委員会の判断により勝利が取り消され、順位が繰り上げられる事があります。

競技規則が改定された場合、運営委員会は速やかに改訂内容を理由と共に公表する。

大会参加者及びその関係者は、大会の基本精神を尊重し、不適当な表現を行わないものとする。

この競技規定のほか、重要な事項については、BRAVE運営委員会の協議・決議により、これを定める。

11. 問い合わせ先

CLUBWAD / BRAVE運営委員会 〒193-0935 東京都八王子市大船町88-5

メールアドレス info@rcs-brave.com